2011年10月26日

北海道留萌振興局との

海浜植物・環境の保全と利用に関する連携協定を締結 地域と一体となって取組みを推進します

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:矢吹健次)は、 2011年10月28日(金)に北海道留萌振興局と留萌管内における海浜植物・環境の保全と利用 を推進することを目的として連携協定を締結いたします。

同協定は、地域の豊かな環境の維持・保全と、継続的な発展に貢献し地域振興を支援・ 推進するという当社と、北海道留萌振興局との考えにより、協定を締結するものです。

今回の連携協定に基づく取組みとして、当社と苫前町ハマボウフウ研究会との地域活動 支援事業に関する協定書の手交式、海浜植物復元活動の一環としてハマボウフウ植栽式及 び地元関係者や小学校児童によるハマボウフウ植生復元に向けた植え付け活動を同日行 ないます。

つきましては、下記のとおり調印式を開催しますので、ご多忙の折とは存じますが、取 材をご検討いただきたく、ご案内申し上げます。

留萌振興局との連携協定調印式及び苫前町ハマボウフウ研究会との協定手交式、 植栽式

1. 苫前町ハマボウフウ研究会との協定手交式

平成23年10月28日(金)10:00~ 日 時

苫前町福祉センター

苫前町内に設置されたコカ・コーラの支援自販機の売り上げの一部が活動助成金と して研究会に寄付されます。

2. 留萌振興局との連携協定調印式

平成23年10月28日(金)10:40~ 苫前町古丹別河口(雨天時は苫前町福祉センター) 取組の象徴として、屋外活動現場での締結式を行います。 参加者は関係者・町内の小学生等100名を超える予定です。

3.海浜植物ハマボウフウの復元活動植栽式

地元関係者や小学校児童による植え付け活動

日時

平成23年10月28日(金)10:50~ 苫前町古丹別河口(雨天時は苫前町福祉センター)

当日は、苫前小学校、古丹別小学校の生徒が校庭のプランターで大切に育てたハマ ボウフウの苗を自ら復元区域に植え付けます。

【連携協定の概要】

- 1 海浜植物・環境復活プログラム
- 2 海浜植物・環境の保全を通じた啓発事業
- 3 海浜植物・環境の利用事業

【参考】

~ ハマボウフウについて~

浜辺に自生するセリ科の多年草。根は漢方薬の原料として需要があり、発汗作用、解熱作用があることから、江戸時代には風邪の諸症状を抑える薬として珍重され、八百屋で売られていたことから別名ヤオヤボウフウともいわれています。 食用としても知られ、風味が良いことから山菜としての需要もあります。



近年、自生数が著しく減少しており、留萌管内の浜辺でも自生数が年々減少しています。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 広報課 担当:藤井 TEL 011-888-2091